

後の筭の如く輩出したものである。その氣障さの不快なることは言ふまでもない。又學識ばかりでなく、徳行の高慢も不快なるものである。流石に教育家たる校長は遠慮深いから眞正面から高慢面をすることはない。「私が貧兒救済の大願を立てました頃は、などと遠廻しに自己の徳行を鼻にかけたがる。その陰險な臭さもたまらない。自己宣傳の世の中とは云へ、かうした傾向は教育界から一掃したい。

校長も努めて自己吹聴、高慢を慎むべきである。學識徳行が充實すれば、自ら吹聴せなく共人が十分に認めてくれる。人に街ふことは即ち自ら足らざるためである。自ら足らざることを知る者は、足らざるを恥ぢて修養に努むる。足らざるを知らざる、身の程知らずの高慢者のみが高言を吐くのである。校長はこの身の程知らずであつてはならない。常に自己の不足を痛感して修養に努むべきである。又部下教員の中にこの種の高慢教員があれば、十分その足らざるを認知させ、その高言を慎ませねばならぬ。得てして少壯教員は鼻糞程の學識、それも受賣りを誇りたがるものであるから注意を要する。

三一 咽喉下過ぐれば熱さ忘るゝ

人間ほど身勝手なものはない。苦しい時には人に泣きつき、さんざ拜み倒してどうにかかうにか苦境を切り抜けると、後は野となれ山となれで苦境にあつた時などケロリと忘れ果てゝしまふ。正しい人間はかくの如き忘却の徒であつてはならない。自己の過ぎ來たつた過去を決して忘れてはならぬ。而して若し苦境にある人を見れば、自分の過去の姿を思ひ出してその人に滿腔の同情を注ぎ、之を善導してやるのが大切である。校長について考へても同様のことがいへる。校長は一足飛びに校長になつたものでなく、師範を出で、ホヤ／＼の訓導となり、永年の苦行を積んで首席となり、更に更に苦能を積んで校長となつたものである。校長は實に永い苦行時代を経た人である。ところが一度校長となると、自己の永い苦行時代を忘却して部下教員に理解を失くす人もある。これこそ咽喉下すぐれば熱さ忘るゝの諺に洩れない人である。校長はよろしく自己の經驗に徴して部下教員の立場に理解を持ち、その善導に努むることが何より大切である。即ち部下教員の心を心として學級經營に當ることが肝要である。

三二 爪で拾うて箆てこぼす

之は小さいことに抜けずして大きなことに抜ける意味のことである。つまり矛盾した不合理に

陥ることを戒めた言葉である。所謂俗にいふ女郎買ひの冷飯草履とは、この間の消息を語るものである。一家の主人としても、この程の爪で拾うて箕でこぼす程の人が多い。電燈代を節約せよ、新聞紙は散らさないやうに、木屑はためておけなど、細かい事にやかましく云ひ乍ら、案外大きいところに抜けて行く。之が校長の學校經營になると、愈々その懸隔が甚だしくなる。やれ理科の實驗具をこはさないやうに、アルコールランプをこはさないやうに、白墨はおしまひまで使へとか、掃巾は水分を多くして拭けば減らないとか、細々としたことには氣をつけ乍ら、その癖大きなところには抜けて行く。最後の締めくくりがない。そのため會計簿に大きな穴をあけることもなる。所謂「女賢うして牛賣りそこねる」の諺を考へて、校長は眼前の小事にのみ汲々せず、眼を大局につけて學校經營に當るべきものである。

三三 燒鳥飛んで口に入らず

牡丹餅は決して柵から落ちて来る筈はない。果報は寝てまでといふ忘れ者に都合のいい言葉もあるが、只樂天主義だけでは果報はこない。果報を得るには吾人は常に希望を追ふ努力家でなければならぬ。努力のないところには發展もなく果報もない。世紀末的廢頹期にある現代人は、

一般に眞面目な努力心を缺いてゐる。すべて僥倖心を有たぬ者はない。努力を要せずして大きな結果を得んと希ふ者が非常に多い。日々健實なる氣風が消滅し、射倖心が増長する。着々たる努力を積みて成功することはまどろつかしいこととしてゐる。世はスピード時代とは云へ、大なれ小なれ一つの仕事の完成といふことは、努力の過程を経ずしてスピード的に達成さるべきものではない。如何なる場合に於ても、成功を勝ち得んとするには努力を伴はなければならぬ。

以上の意味からして、校長も當然努力の人であるべきことが分る。ホヤ／＼の教員時代より一世代の目標としてきた校長の椅子に着くと、我が希望達せられたりと許りに氣を許し、急に老年になつたやうに元氣も教育家的熱意も勇猛心も捨て去つてしまふ校長もあるが、かくの如きは大きな考へちがひである。校長の椅子は單なる閑職ではない。教育家としての努力すべき時は、この校長時代である。故に校長は層一層の精魂をつくして教育力の遂行に努めねばならぬ。すべてに積極的に敢然としてぶつかつて行く氣力が欲しい。柵から牡丹餅式では、決して校長としての重責を果すことは出来ない。校長は言ふまでもなく一校の主人である。主人である以上、その學校の教育力の隆昌をなすも停滯を來すも、一にその双肩にかゝつてゐる。この點に想到する時、校長は猛然として奮ひ立たねばならぬ。「不景氣だ、やかましく催促しても駄目だ。今にどうにか

なるだらう」位に消極的なあきらめをつけて引込んでゐては仕方がない。遠慮してゐては限りがない。只拱手傍觀してゐれば、何日まで経つても本のもくあんである。障害があれば、困難があればあるだけその難關に全精魂を傾注してぶつかつて行く氣概が欲しいのである。このことは學校經營の經濟的方面に於ても、學習訓練方面に於ても同様である。要するに校長は、消極的な諦觀主義を排し、積極的な進取的氣象を有し、努力を以てその難關を開拓して行く熱意を有する人であるべきである。

校長學本論終

昭和九年七月十五日印刷
昭和九年七月二十日發行

不許複製

校長學本論

定價金貳圓八拾錢也

著者 水 木 梢

東京市淀橋區柏木一丁目

發行者 水 木 嶽 龍

東京市小石川區戸崎町三六番地

印刷者 吉 澤 辰 藏

發行所

東京淀橋區
柏木一丁目

高 踏 社

振替東京七四四五七番
電話四各一七〇七番

次目容内の書本

刊新最 水木

水木

梢編著

四六版三百頁

増訂版

定價金壹圓

送料金八錢

好評

如何に
すれば
個性教育は徹底
するか

個性教育の根本問題	東京帝大講師 西田
個性教育の重要性	東京帝大講師 田中
個性教育の支那	東京帝大講師 渡々
個性教育の困難	東京帝大講師 小川
個性教育の目的	東京帝大講師 本川
個性教育の精神	東京帝大講師 澤本
個性教育の誤謬	東京帝大講師 瀬
個性教育の苦悶	東京帝大講師 高
個性教育の理想	東京帝大講師 北
個性教育の観念	東京帝大講師 松
個性教育の思想	東京帝大講師 小
個性教育の教育	東京帝大講師 新
個性教育の課程	東京帝大講師 佐
個性教育の特殊	東京帝大講師 田
個性教育の要界	東京帝大講師 西
個性教育の目的	東京帝大講師 大
個性教育の見物	東京帝大講師 諸
個性教育の意義	東京帝大講師 松
個性教育の徹底	東京帝大講師 鶴
個性教育の展望	東京帝大講師 田
個性教育の未来	東京帝大講師 芳
個性教育の理想	東京帝大講師 森
個性教育の精神	東京帝大講師 沖
個性教育の誤謬	東京帝大講師 安
個性教育の苦悶	東京帝大講師 阿
個性教育の理想	東京帝大講師 日
個性教育の観念	東京帝大講師 高
個性教育の思想	東京帝大講師 大
個性教育の教育	東京帝大講師 北
個性教育の課程	東京帝大講師 松
個性教育の特殊	東京帝大講師 小
個性教育の要界	東京帝大講師 新
個性教育の目的	東京帝大講師 佐
個性教育の見物	東京帝大講師 田
個性教育の意義	東京帝大講師 西
個性教育の徹底	東京帝大講師 大
個性教育の展望	東京帝大講師 諸
個性教育の未来	東京帝大講師 松

東柏 京木 淀一 橋四 町二 高踏社 電話四七〇七番 電話四七〇七番



